

問1	1939年のドイツによるポーランドへの軍事進攻を契機として、ヨーロッパにおける紛争が第二次世界大戦へと発展した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 国際連盟が軍隊を派遣し、ドイツ軍を強制的に撤退させる措置をとったため。	2. ソビエト連邦がポーランドを支援するために、ドイツに対して全面的に攻撃を開始したため。	3. ドイツの進攻を受けて、アメリカ合衆国が即座にヨーロッパ戦線への参戦を決定したため。	4. ポーランドと軍事同盟関係にあったイギリスとフランスが、ドイツに対して宣戦布告したため。
問2	第一次世界大戦の戦勝国であるアメリカ合衆国が、自国の大統領が提唱した国際連盟に参加しなかった理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 高知県公立入試 類似）			
	1. 大恐慌の影響による国内経済の混乱を解決するため、国際社会との関わりをすべて絶ったため	2. 国際連盟の本部をニューヨークに設置することが認められず、外交上の不満を持ったため	3. 国内の上院議会が、ヨーロッパの紛争に巻き込まれることを懸念する孤立主義を重視して反対したため	4. 敗戦国であるドイツを支援する立場をとったため、他の戦勝国から加盟を拒否されたため
問3	1930年代半ばの日本における電気事業の展開において、富山県が都道府県別の総発電量で全国1位となった主な要因と、その影響について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）			
	1. リアス海岸の複雑な地形を活かして潮力発電が全国に先駆けて実用化され、地域内の伝統産業を電化させる原動力となったため。	2. 立山連峰をはじめとする急峻な地形と豊富な雨雪による水資源を活かした水力発電が発達し、産業発展に必要な電力を供給したため。	3. 広大な平野部を利用して大規模な送電施設が整備され、関東や関西といった大都市圏で発電された電力を中継する役割を担ったため。	4. 日本海沿岸で良質な石炭が大量に産出されたため、それを利用した大規模な火力発電所が建設され、重化学工業の拠点となったため。
問4	1920年代後半から1930年代にかけての世界の動向をまとめた記録において、1929年の世界恐慌への対策として行われた「ニューディール政策」に関連する記述として、正しい事柄はどれですか。（2026年 長野県公立入試 類似）			
	1. ヒトラーが、ナチスを率いて自国と植民地によるブロック経済を完成させた。	2. ローゼンベルグ大統領が、ダム建設などの公共事業による雇用対策を行った。	3. フーバー大統領が、特定の語句の使用を制限して自由貿易を促進した。	4. ムッソリーニが、エチオピアに侵攻することで失業者を軍隊に吸収した。
問5	第二次世界大戦の後半、多くの成人男子が兵士として戦場へ送られたことにより、国内の軍需工場などでは深刻な労働力不足が発生しました。この不足を補うために、中学生や女学生などの生徒が本来の学習を離れ、兵器の製造といった労働に従事させられた体制を何といいますか。（2017年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 集団疎開	2. 徴兵令	3. 国家総動員法	4. 学徒勤労動員
問6	1937年から1945年にかけての日本の戦争の始まりと終わりに関する説明として、正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 北京郊外での盧溝橋事件を機に日中戦争が始まり、最終的に連合国のポツダム宣言を受諾して終結した。	2. ポツダム宣言の受諾によって日中戦争が始まり、盧溝橋事件の解決をもって全ての戦争が終結した。	3. ミッドウェー海戦をきっかけに太平洋戦争が始まり、真珠湾攻撃の失敗を受けて降伏した。	4. 真珠湾攻撃によって日中戦争が始まり、ミッドウェー海戦の勝利を経てポツダム宣言を受諾した。
問7	満州に駐留していた日本の関東軍が、満州事変を引き起こすきっかけとなった柳条湖事件において、爆破の対象とした施設はどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 北京郊外の盧溝橋	2. 奉天にある中国軍の司令部	3. 南満州鉄道の線路	4. 山東省の済南にある鉄道駅
問8	1929年に発生した世界恐慌への対策として、アメリカ合衆国のルーズベルト大統領が行った「ニューディール政策」の内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 政府がダム建設などの公共事業を積極的に起こし、失業者に職を与えて購買力を回復させようとした。	2. 軍備を拡張して周辺国へ侵攻し、領土を拡大することで資源を確保し不況を脱しようとした。	3. 本国と植民地の間で関税を低くし、他国の商品を排除する排他的な経済圏を形成した。	4. 国家がすべての生産手段を管理し、重工業を中心とした五カ年計画によって経済を成長させた。
問9	第一次世界大戦において戦勝国となり、1920年に発足した国際連盟では常任理事国を務めるなど国際的な地位を確立したものの、その後の第二次世界大戦では敗戦国となった国として、最も適切な名称を選んでください。（2026年 高知県公立入試 類似）			
	1. アメリカ合衆国	2. 日本	3. ドイツ	4. イタリア
問10	1929年に始まった世界恐慌の影響で、アメリカの失業率は1933年には約25%にまで達しました。この危機を乗り越えるためにルーズベルト大統領が行った、政府が経済に積極的に介入する「ニューディール政策」の内容として最も適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 失業率を減らすために、ダムの建設などの公共事業を行い雇用を創出する	2. 政府の介入を最小限に抑え、企業の自由な競争にすべてを委ねる	3. 徹底した増税を行い、国家予算の赤字を解消することで通貨の安定を図る	4. 軍備の拡張を最優先し、軍需産業を活性化させることで景気回復を図る
問11	太平洋戦争末期の日本において実施された「疎開」の目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 世界恐慌の影響で失業した都市部の労働者を、農業に従事させるために地方へ送った。	2. 都市部への空襲による被害を避けるために、子供や住民を安全な農村部へ避難させた。	3. 戦後の食糧不足を解消するために、都市部の人々を農村へ派遣して開拓を進めた。	4. 高度経済成長による都市部の過密化を防ぐために、政府が農村への移住を推奨した。
問12	1931年9月、奉天郊外で南満州鉄道の線路が爆破された柳条湖事件をきっかけに、日本軍（関東軍）が中国東北部（満州）への軍事行動を開始し、占領地域を広げていった一連の出来事を何といいますか。（2017年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 日露戦争	2. 満州事変	3. シベリア出兵	4. 日中戦争
問13	19世紀半ば、ペリーの来航をきっかけとした開港によって、日本は長年の鎖国体制を終えて国際社会へと踏み出しました。その後の明治時代における外交方針と、1910年に日本がとった行動の組み合わせとして、歴史的背景を踏まえた正しい説明はどれですか。（2024年 富山県公立入試 類似）			
	1. 不平等条約の改正を目指して欧米列強と交渉を続け、大陸への進出を強める中で韓国併合を行った	2. 領事裁判権の維持を条件に、国際連盟の主導による平和的なアジア外交に専念した	3. 鎖国体制への復帰を掲げ、イギリスやアメリカとの国交を断絶して韓国の独立を支援した	4. 関税自主権を自ら放棄する代わりに、清やロシアとの間で軍事同盟を優先的に結んだ